

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所・放課後等デイサービス りえら		
○保護者評価実施期間	令和7年4月1日		～ 令和8年3月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	令和7年4月1日		～ 令和8年3月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月31日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	施設が児童発達支援(未就学児童)の利用者に適した設備となっている 経験年数が抱負な職員の確保により、新規職員のスキルの向上が見込めている	空き教室利用による利用者のクールダウン	利用者増に伴う常勤保育士の補充 1年間の療育に基づく教材等の充実を図る
2	利用者の活動内容や利用児の対応についての環境設定に関しての振り返りの時間を取っている	絵カードの使用など障害に合わせた自己選択が出来るように工夫している 写真、絵、カードで利用者が分かりやすい様な工夫をしている	法人内の各拠点の事業を把握して、利用者が参加出来るようなイベントへの参加
3	利用者の急な発熱等に対して、法人内の医療施設に従事する医師の助言、受診が可能であること	従事職員が感じたことは、すぐに相談するほか、医師にすぐ相談する	定期的リハビリや看護師などの医療スタッフに巡回していただくことの検討 利用者の定期健診の導入の検討

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	食事の提供	昼食(お弁当)については、利用者各自が容易しているが、療育の視点から食事の提供をできる組織体制の構築	りえら調理室での調理と提供にむけた取り組みを考えている
2	利用者の送迎	送迎車、運転手の不足	送迎車、運転手の確保
3	利用者のメンバー構成による従業員の体制	1対1の対応を必要とする児が1日に複数となった場合、通常営業日の療育との違い	兼務職員とパート職員の確保と従事職員の情報共有、研修研鑽